

報道関係各位

～「たまゆら」から一年～

3.19 メディアカンファレンスのご案内

昨年の3月19日に起きた「静養ホームたまゆら」の火災から一年が経とうとしています。この事件で明らかになった、都内における低所得要介護高齢者の受け皿が不足しているという課題を受けて、ふるさとの会では、昨年の5月に「ふるさと晃荘」(定員18名)を、今年2月に「ふるさと寿々喜屋ハウス」(定員20名)を墨田区に開設しました。地域の方々のご協力や自治体・福祉事務所との連携により、「たまゆら」の被災者にも安定した住まいを提供しています。一方で、こうした取り組みを広げていくためには、「居住セーフティネット」のあり方や、「支援付き住宅」の制度化について議論を続けていく必要があると思います。

昨年2月25日に発足した「支援付き住宅研究会」(平成21年度厚生労働省社会福祉推進事業)では、「困窮単身／要介護／高齢者へ地域密着サービス提供の包括的な支援システム構築」のあり方を検討し、「支援付き住宅」の制度化にむけた提言や、来年度から東京都がはじめる「都型ケアハウス」に対する要望を行ってきました。現在、最終的な提言をまとめているところですが、来る3月19日にメディアカンファレンスを開催し、一年の取り組みをご報告するとともに、報道関係の方々と議論を深めたいと考えております。ぜひともご参加・ご取材くださるようお願い申し上げます。



ふるさと晃荘外観



ふるさと寿々喜屋ハウス

会場：ふるさとの会本部→ふるさと晃荘→ふるさと寿々喜屋ハウス

〒131-0031 台東区千束 4-39-6(地図参照)

日時：3月19日(金) 13時半～17時(13時15分から受付)

- ・ふるさと晃荘、ふるさと寿々喜屋ハウスの内覧会
- ・「支援付き住宅研究会」の研究報告

お問い合わせ先／NPO 法人自立支援センターふるさとの会 担当：古木／滝脇

〒131-0011 東京都台東区千束 4-39-6-4F TEL:03-3876-8150 FAX:03-3876-7950 E-mail: hurusato@d5.dion.ne.jp

高齢被保護者等の地域における居住確保とケアのニーズ調査及びシステム構築の方法に関する研究会
研究委員(50音順)

高齢被保護者等の地域における居住確保とケアのニーズ調査及びシステム構築の方法に関する研究会

研究委員(50音順)

井上 孝義 東京都社会福祉協議会医療部会MSW分科会会長 / (社福)信愛報恩会 信愛病院医療社会事業部
医療ソーシャルワーカー

尾上 義和 精神保健福祉士 / 藤沢市保健所

高橋 紘士 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科・コミュニティ福祉学部教授

滝脇 憲 NPO 法人ふるさとの会理事

竹島 正 国立精神・神経センター精神保健研究所精神保健計画部長

布川日佐史 静岡大学人文学部教授

本田 徹 浅草病院医師 / 認定 NPO 法人シェア(国際保健協力市民の会)代表理事

的場 由木 保健師 / 保護司 / NPO 法人すまい・まちづくり支援機構理事

山岡 義典 NPO 法人日本 NPO センター代表理事 / 法政大学現代福祉学部教授

水田 恵 NPO 法人すまい・まちづくり支援機構代表理事